

「新型コロナウイルスによる影響に関するアンケート調査」結果 ～思い切った経費削減策を講じるも資金援助を求める声大きい～

I 調査概要

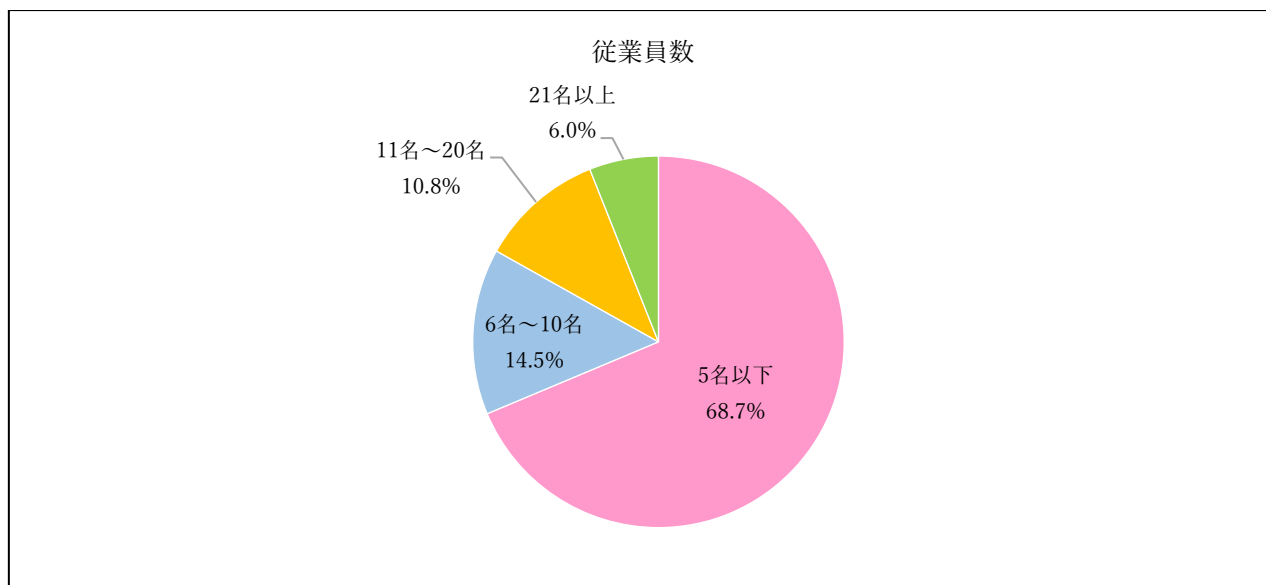
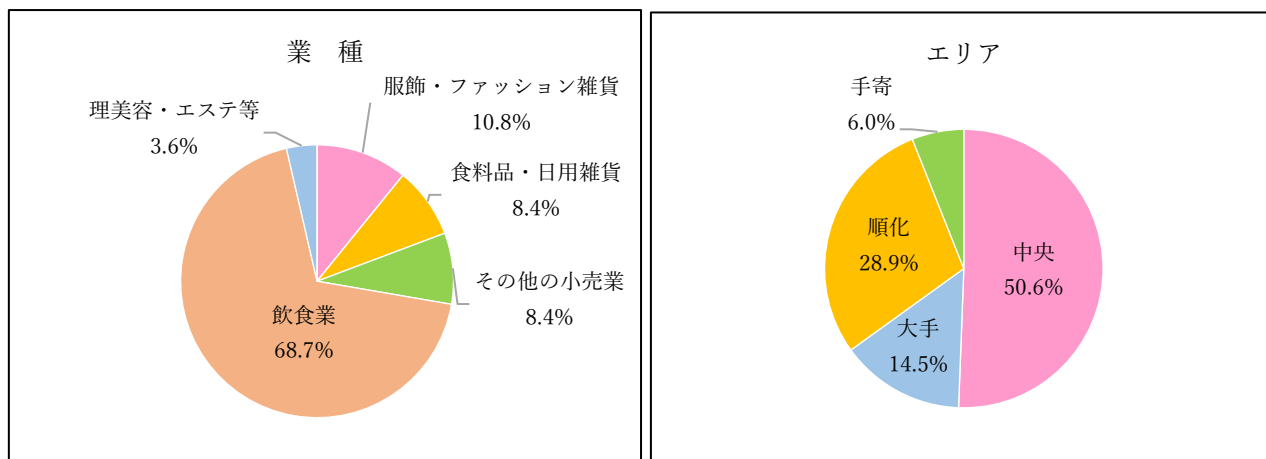
1.対 象 中心市街地（中央・大手・順化・手寄）の各店舗

2.調査期間 令和2年3月23日（月）～4月3日（金）

※本調査は、国の緊急事態宣言(4月7日)、県民行動指針(4月8日)、福井県緊急事態宣言(4月14日)がそれぞれ発表される前に実施。

3.回 収 84件（回収率 20.2%）

4.回答者属性



II 調査結果（集計、分析）

今回の調査は、国からの緊急事態宣言、県からの県民行動指針が発表される以前のものであるが、福井市中心市街地の店舗では9割以上が悪い影響があると回答しており、ほぼ全店で影響が出ている。来店客数の大幅な減少により、9割以上の店舗で売り上げが減少している。個人の外出自粛だけでなく、歓送迎会や式典など季節的なイベントの中止が相次いでおり、影響が深刻化してきているといえる。こうした中、各店では、営業時間や労働時間の削減など、思い切った経費削減策を講じている。しかしながら、直接的な資金援助を求める声が大きく、事業所の多くが赤字に陥り、営業キャッシュフローがマイナスになっていると推測される。具体的に店からの要望としては、「融資ではなく補助金がほしい」「税金の免除」「家賃の支払いへの補助」といった声が多い。

また、4月8日は知事から県民行動指針が示されたが、人々の感染対策意識の高まりや外出自粛により、4月に入ると、福井駅前の歩行者通行量は3月よりさらに少なくなったと実感しており、緊迫の度合いの高さを感じる。福井県内の学校は5月6日まで休校となるなど、3密を避ける行動が当面求められていることから、ゴールデンウィークの連休商戦も全く期待できない。

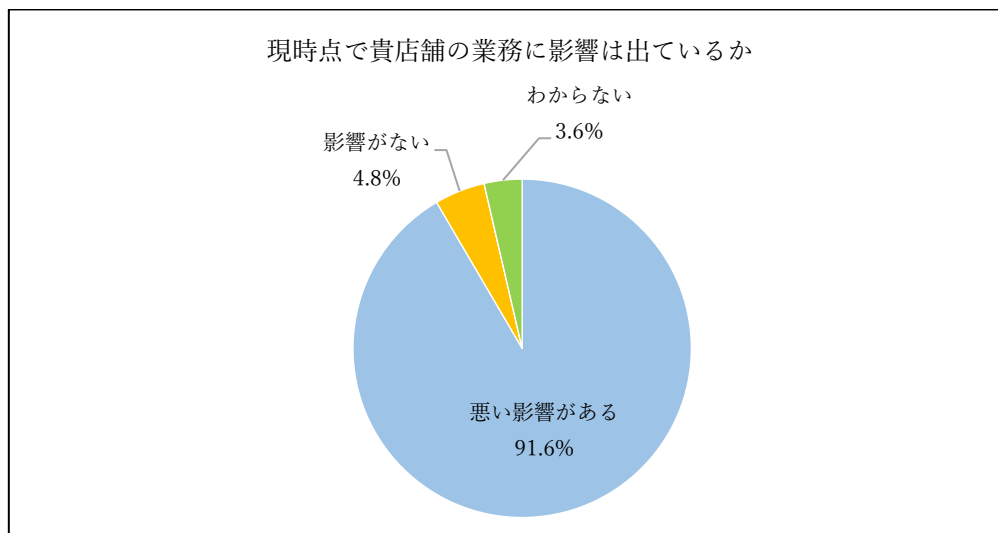
コロナの終息が見通せず売上の回復が望めない現状がさらに続けば、中心市街地ではこれまでにない数の事業所が廃業せざるを得ない可能性も否定できない。

当社では、事態の深刻さを受け、現在次々と打ち出されている行政支援策の周知や理解向上の観点から、ホームページ内に「新型コロナ関連対策情報提供ページ」を設け、福井市中心市街地の事業所の方々に特に関連すると思われる支援施策について紹介している。また、テイクアウトやデリバリーサービスを行っている店舗の情報発信も開始している。

1.新型コロナウイルス感染拡大による店舗の影響について

9割以上が「悪い影響がある」と回答。

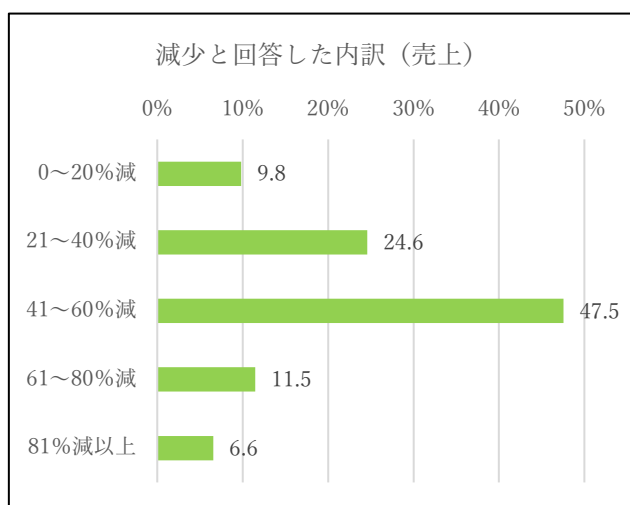
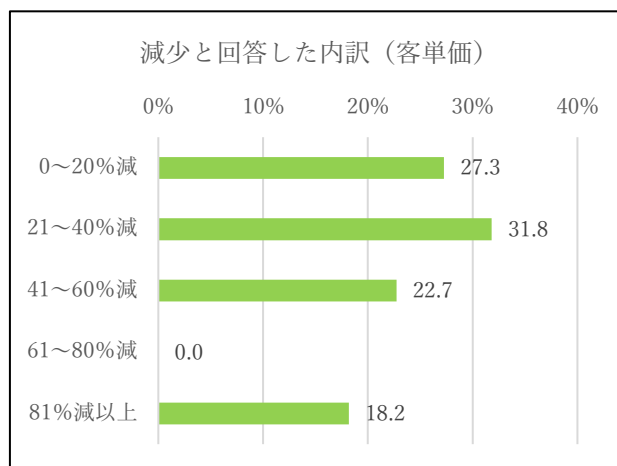
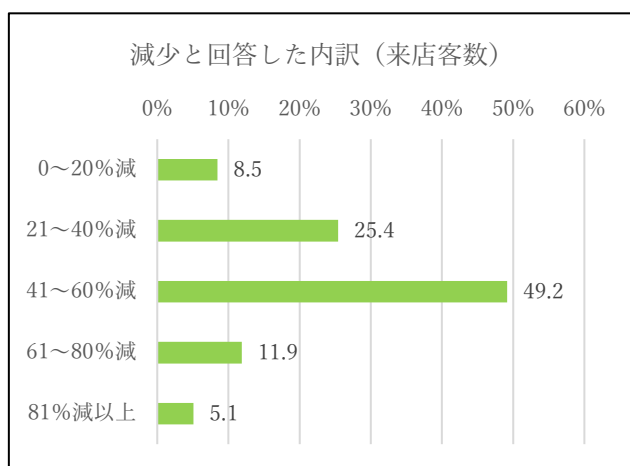
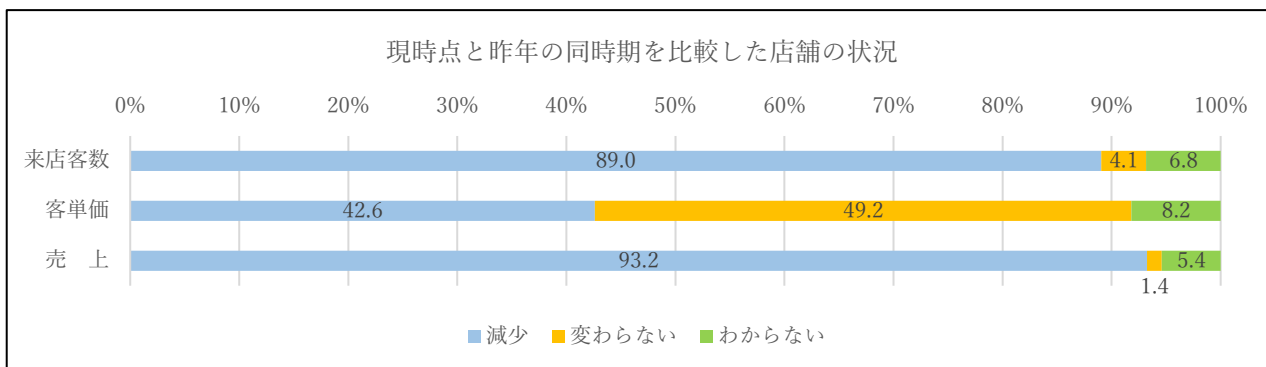
「悪い影響がある」が91.6%と最も多く、次いで「影響がない」が4.8%、「わからない」が3.6%となっている。回答者の9割以上が「悪い影響がある」と回答しているなど、事態の深刻さがうかがえる結果となった。



2.現時点と昨年の同時期を比較した店舗の状況（来店客数、客単価、売上）について

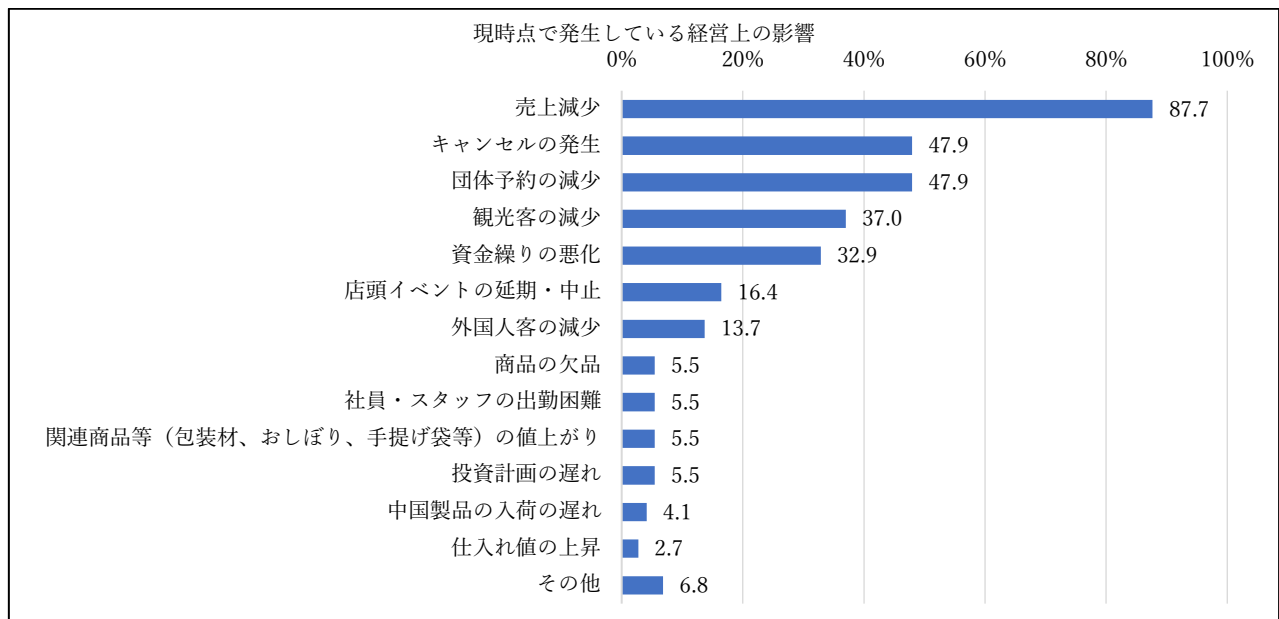
来店客数、売上については約9割が「減少」と回答。客単価については「変わらない」という回答が約5割あった。

3項目（来店客数、客単価、売上）の現時点と昨年の同時期を比較した店舗の状況について、それぞれ最も多かった回答は、来店客数が「減少」89.0%、客単価が「変わらない」49.2%、売上が「減少」93.2%であった。また、来店客数と売上の減少率については、最も多かった回答は「41～60%」で、約5割の店舗が回答した。尚、減少理由としては「外出を控えたため」「買い控え」、「団体客、観光客の減少」などが挙げられている。



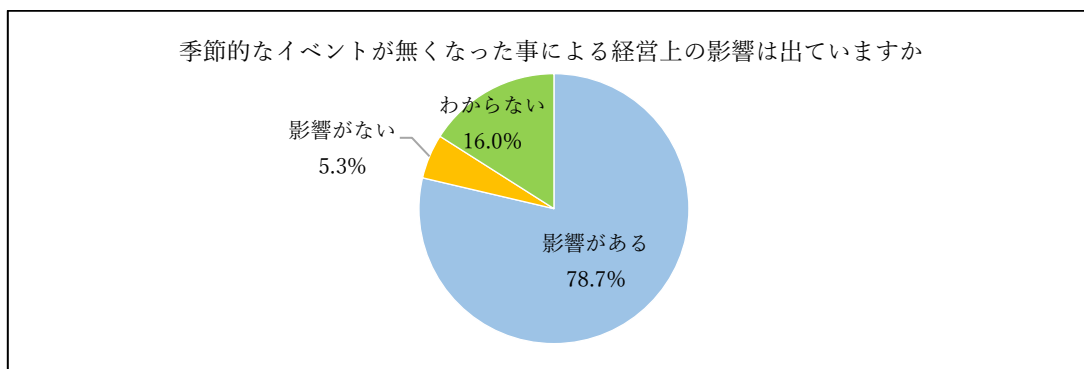
3.新型コロナウイルス感染拡大により、現時点で発生している経営上の影響について（複数回答）
「売上減少」が最も多く約9割の回答。「キャンセルの発生」、「団体予約の減少」はそれぞれ約5割の回答となっている。

現時点で発生している経営上の影響については、「売上減少」が87.7%と最も多く、次いで「キャンセルの発生」と「団体予約の減少」がそれぞれ47.9%となっている。また、「観光客の減少」も37.0%と高い割合を示しており、来店客数の減少は経営に大きな影響を与えていることは間違いない。尚、調査時点では「資金繰りの悪化」は32.9%であったが、このまま売上減少が続いていくと、急速に資金繰りが苦しくなることが考えられる。



4.季節的なイベント（歓送迎会、卒業式、入社式等）が無くなったことによる経営上の影響について
約8割が「影響がある」と回答。

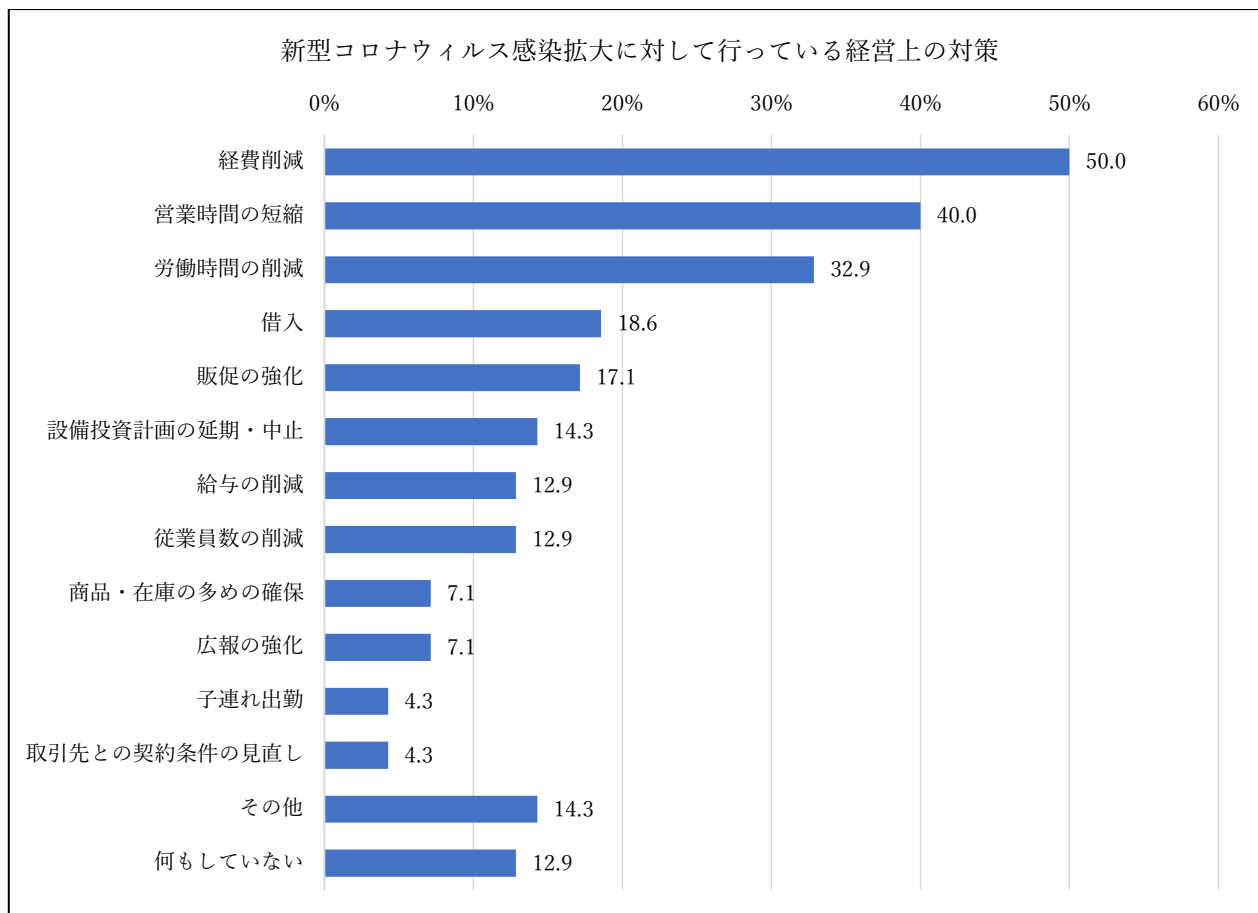
季節的なイベント（歓送迎会、卒業式、入社式等）が無くなったことによる経営上の影響については、「影響がある」が78.7%と最も多く、次いで「わからない」が16.0%、「影響がない」が5.3%となっている。具体的な影響については、「式典が中止になり、新しくスーツを購入する必要がなくなった」、「卒業式用の記念品の発注がキャンセルになった」、「卒業式や入学式の中止で記念写真の撮影予約がキャンセルになった」等の声がきかれた。



5. 新型コロナウイルス感染拡大に対して行っている経営上の対策について（複数回答）

「経費削減」が最も多く5割の回答。

経営上の対策については「経費削減」が50.0%と最も多く、次いで「営業時間の短縮」が40.0%、「労働時間の削減」が32.9%であった。来店客数や売上の大幅な減少が続いている中で、経費削減は最も重要な対策の一つであると考えられ、営業時間や労働時間の削減など、なりふり構わず思い切った経費削減策を実施していることがうかがえる。



6. 新型コロナウイルス感染拡大の影響に関して、要望など自由意見について

売上等が減少していく中で店舗を継続していく為の要望として最も多かったのは「補助金・助成金などの支援策」であった。具体的な内容としては、「固定資産税の減税、消費税の廃止・免除や家賃の補助」、「融資ではなく補助、助成金が欲しい」といった意見が多かった。その他には、「お弁当やお惣菜に力を入れて何とか乗り切るしかない」、「今後の取引先への支払、海外製品の入荷が不安」という意見もあった。